

# せいたいえんだより

## No.70

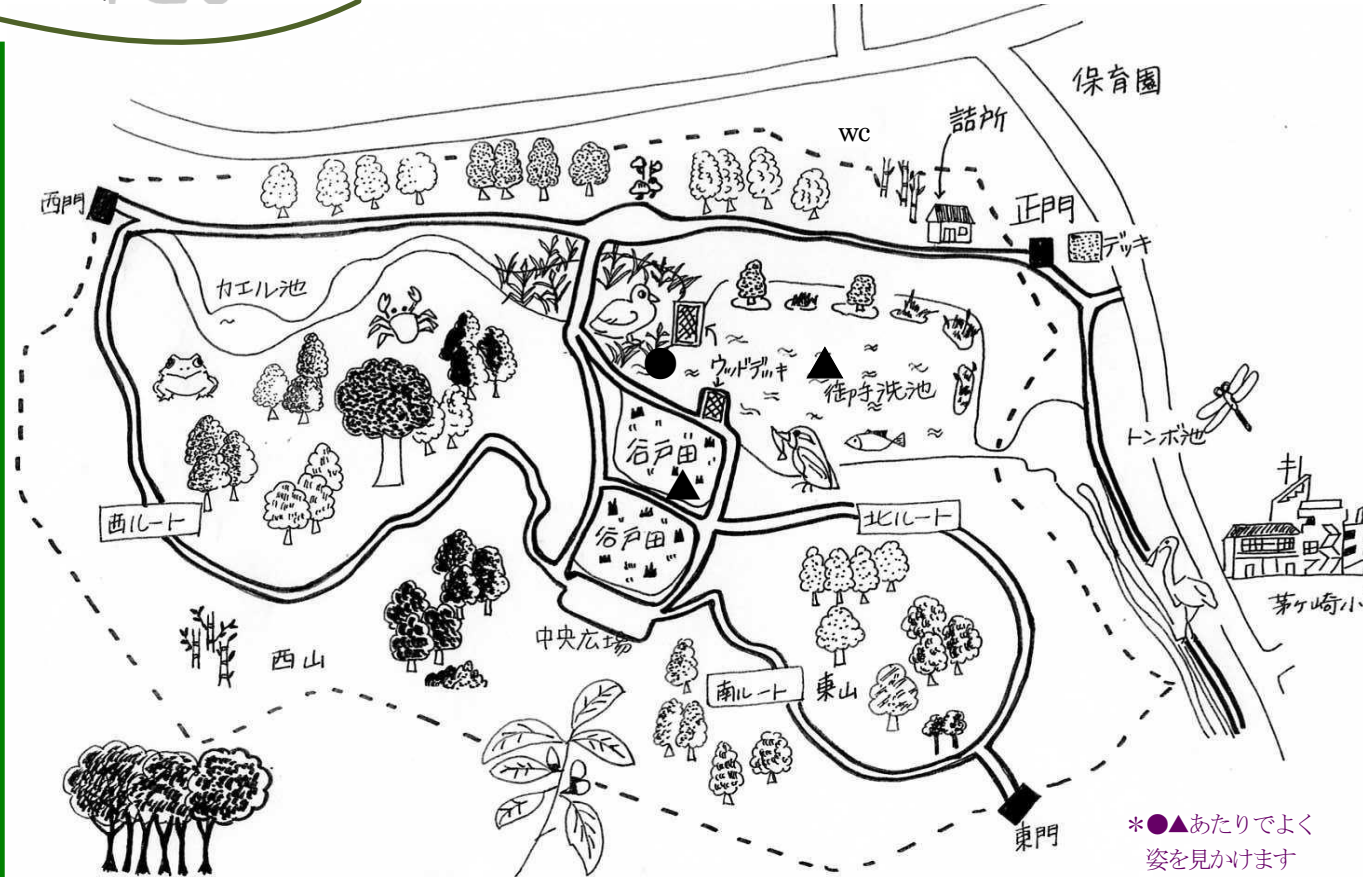
自然生態園は、おかしながらの池や田んぼをのこし、植物や生きものの観察、お米づくり、自然体験などができる公園です。

### 鳥を観察してみよう！

#### メジロ



全長12cm。体は暗い黄緑色で、目のまわりが白いのが特徴。留鳥で、公園や庭でも1年中見られます。あまいミツや実が好きで、生態園では、よくツバキの花のミツをすっています。



#### エナガ



全長は14cmですが、その半分は長い尾で、体はメジロよりも小さいです。短くちばしをもちます。留鳥ですが、生態園では冬によく見られ、他の種の小鳥とむれになって、虫をさがしながら枝やみきをつついていきます。

\*●▲あたりでよく姿を見かけます

りゅうちょう \* 留鳥: 1年中同じ場所に住む鳥 \* 冬鳥: 冬の間のみ日本で暮らす鳥

#### ジョウビタキ●



全長14cm。オスは頭が銀色でおなかがあざやかなオレンジ色。オス・メスどちらも、つばさの背なかがわに白いもようがあります。なわばりのアピールのために、よくおじぎしながら鳴いています。冬鳥で、生態園ではアシ原でよく見られます。

#### カルガモ▲



全長61cm。頭・目・ほほにこげ茶色の線があり、黒いくちばしの先っぽが黄色いのが特徴。留鳥で、生態園では春から初夏に、親子が田んぼでエサを探している姿がたまに見られます。

普段は北国や山奥に住む鳥たちも、冬は身近な里山で見られるようになります。また、冬は鳥のすがたをかくす木の葉が少ないため、小鳥を観察しやすい季節です。